

大学評価学会年報編集委員会（2015.6.27／名古屋大学）のご報告

昨年夏の編集委員会改組後、委員全員が揃って参加した最初の委員会となりました。年報第11号の編集も大詰めで、今回の委員会では校了から発行までのスケジュールの確認、表紙の色などを確定したほか、第12号の編集に向けて意見交換を行いました。また、懸案の学会年報の電子化について、J-STAGEへの搭載の方向を軸に、掲載の方法、体制等について検討しました。

【委員会当日の報告・審議事項】

1. 年報11号編集状況について

- ・ 抜刷りの印刷について
- ・ 電子化を見越しての電子データの確保について
- ・ 12号編集に向けての改善点について
- ・ その他



2. 年報12号の編集について

- ・ 大会開催時期の変更（5月開催）に伴う発行時期の変更について
- ・ 特集1（大会シンポジウム）について
- ・ 特集2（日韓シンポ関連）について
- ・ 投稿の状況について
- ・ 書評対象書籍について
- ・ その他

3. 年報の電子化について

- J-STAGE Lite（PDFでの搭載）がJ-STAGEの機能の一部として統合
 - ・ 申込み受付開始 2015年8月1日（予定）
 - ・ 申込みの際の提出物
 - ・ エントリー書類
 - ・ 冊子体
 - ・ データ作成・登載体制
 - ・ 投稿規定
 - ・ 発行計画（発行予定誌のみ）
 - ・ 査読体制（査読付きコンテンツのみ）